

令和6年能登半島地震にかかわる介護職員等応援派遣

活動報告書

令和6年2月11日

土田祥貴

厚生労働省社会援護局・福祉基盤課より所属施設を經由して募られた DWAT 派遣員として現地 1.5 次避難所に赴き活動した内容および施設状況について報告します。

派遣先 : いしかわ総合スポーツセンター

石川県金沢市稚日野町(わかひのちょう)北 222 番地

派遣期間: 令和6年2月5日~9日(5日間)

①活動日誌

2月5日(月)

大雪の中、16時頃当該施設に到着。DWAT なんでも相談コーナーにて受付手続きするも、派遣者名簿に記載がなく、DWAT 担当者にて厚生労働省?へ確認したところ、全国版名簿には2月5日~8日の各日20時~8時勤務で登録されているが、石川県によるピックアップが出来ておらず、手配が未定の状態だと説明を受ける。急遽 DWAT 担当者の指示によりサブアリーナにて6日~8日の各日8時~20時勤務となる。

新規入職者に向けた業務説明書『応援の皆さまへ』を渡される。

“DWAT なんでも相談コーナー”担当は九州からの派遣チーム。受付と施設内の案内・説明はするが、避難所の詳細は知らない様子。チーム全員がホテルに連泊しているとのこと。

2月6日(火)

7時45分サブアリーナの介護ステーションに出勤。

介護職用のビブス(黄色メッシュベスト)に担当レーン(区域)と氏名を貼り着用。

出勤者名簿に氏名と性別を記入し、スマホでQRコードをスキャンして表示される登録フォームに団体名・氏名・勤務場所・勤務時間帯を入力。国による実績管理・経費精算処理などに使用するため、入力必須とのこと。

組織構成は、サブアリーナ全体の介護職リーダー、レーンごとのリーダー、各レーン職員5~6名が日勤と夜勤で入れ替わっている。交代時にレーンリーダーの申し送りとレーンごとのミーティングを実施。オリエンテーションは各自が『応援の皆さまへ』を読み把握している前提でおこなわれる。

派遣期間の長いスタッフが自主的に介護リーダーに就いている様子。当時はフロンティ

ア介護の制服が多かった。定期的に石川県職員、DWAT、DMAT ほか多職種でミーティングをおこない、各リーダーが伝達していた。

避難所はパーティション区画が列配置され、アルファベット L~U で識別されている。

LMN・OP・QR・STU でレーン（エリア）分けし、スタッフ配置されている。

日中・夜間のタイムテーブルあるが、スタッフへの細かな指示は無く、各自が“やる事”を見つけておこなう感じ。

8:00 勤務開始。サブアリーナ LMN ラインの感染エリア（消化器系）に配置され、ノロウィルス感染疑いの男女 2 名をスタッフ 2 名で対応開始。

10:10~11:10 休憩の後、LMN 感染エリアに戻る。

11:15 頃、男性入所者が退所したため 1 人体制となる。

12:30~13:30 昼休憩の後、LMN 感染エリアに戻る。

14:30 女性入所者が隔離解除となり移動したため、一般エリア勤務となる。

15:45~16:15 休憩。

17:40 頃、同室者が嘔吐しノロウィルス感染疑いとなった女性入所者が 48 時間隔離のため感染エリアに入ることとなり、再度感染エリアに配置される。

20:00 勤務終了

感染エリアの床は 3~4 時間毎にハイター泡スプレーを撒きクイックルワイパーで拭き消毒している。

感染エリアのトイレは定時刻（3 時・7 時・10 時・15 時・19 時・23 時）に消毒実施。手すりと床をハイター泡スプレー拭き。便座は分解してビニール袋に入れ、ハイター泡スプレーで 5 分間の浸け置き消毒。

感染エリアのゴミ袋は二重にして指定場所に置き、72 時間経過後、専用ボックスに移すと業者が回収する。

9:00 のバイタルサイン測定は原則として体温のみ測定する。入所者リストに★印の付いた方のみ血圧とサチュレーション等を測定。出勤時に感染エリア担当に指名されたら、介護ステーションから感染エリア用セットを持参する。（7 日の朝より、夜勤者が体温のみ測定することとなった）

2月7日（水）

7:50 出勤。ピブス着用、名簿記入、QR コード登録フォーム入力。

申し送りにて、昨日初めてシャワー浴を試したが環境整備に不足が多く寒い。入所期間が長い方から順に数名ずつ実施。同性介助だが女性スタッフ少ないため、マルチパーパ

ス（要介護者避難所）から応援要員が来るとのこと。

8:00 LMN レーン感染エリアに入る。昨日から隔離期間継続している女性入所者を担当。

10:15～10:45 休憩の後、感染エリアに戻る。

13:25 ケアマネジャのチームが巡回。入所者の所在（居室番号）を確認。

13:35～14:35 昼休憩の後、感染エリアに戻る。

18:00 レーンスタッフのミーティング。昨日感染エリアから移動した女性入所者が退所したとのこと。その他の入所者情報（発熱・歩行見守り・義歯自己管理など）の伝達あり。感染エリアでの防護キャップと靴カバーは装着不要とのこと。

18:45～19:15 休憩の後、感染エリアに戻る。

20:00 終業

リハビリ職のチーム（JRAT・緑色ビブス）が各入所者の ADL 評価と個別リハビリをおこなっている。

毎食前に PT による口腔体操をおこなっている。

2月8日（木）

8:00 勤務開始。LMN レーンのリーダーに指名される。リーダーはビブスの担当レーンを赤色テープで明示。リーダー同士の連絡に使うインカムが渡される。介護リーダーからの指示伝達、各スタッフの担当エリア（一般・感染）と休憩時間の配分などを管理する。

9:00 男性1名が退所となり、家族と共に準備（荷物と書類確認・薬剤師から持参薬を受け取る・食事箋の記入）と DMAT 窓口での退所手続きをおこなう。

11:00～11:30 マルチパーパスからサブアリーナへ移動1名の受け入れ対応。66歳女性、全介助の方。娘が付き添いしており、居住区画にオムツ交換時の仕切りカーテンが無い・便意を伝えるナースコールが無い・個室希望など対応不可能な要望事項が多いため介護リーダーに報告。個室対応できるマルチパーパスへ戻ることとなった。

12:10 T レーンにて嘔吐・救急搬送が発生。一時空室とするため移動となった同室者の女性を L レーン一般エリアに受け入れ。

拒否者の代わりに 14:30 頃に入浴となる男性入所者の介助をスタッフに依頼。

14:00～15:00 昼休憩。

20:00 夜勤のレーンリーダーに申し送りをし、終業。

2月9日（金）

石川県産業展示館2号館を視察。移動経路と所要時間、避難所と仮眠スペースの状況を確認。総合スポーツセンターから徒歩7～8分程度。建物を見通せる距離感だが、雪・雨など降っていると勤務前後の移動は厳しいだろうと感じる。

避難所となっているホールを囲むような構造の2階に男性用と女性用の仮眠スペースあり。パーティション囲いでカーテン出入口の簡易設備だが、一人当たり2m×2mほどのスペースがあり、総合スポーツセンターに比べ倍ほどの広さを感じる。入浴施設は無い。
 10:31 いしかわ総合スポーツセンター前バス停から北鉄バス乗車。11:15JR 金沢駅到着。
 金沢駅にてJR 乗車券購入し 11:48 発しらさぎ8号に乗車。15:44JR 可児駅到着。

②諸情報

交通

往路

2月5日(月) 11:15 JR 可児駅より岐阜駅へ。しらさぎ7号にて金沢駅に15:36到着
 金沢駅よりタクシー乗車。16:00頃いしかわ総合スポーツセンター到着。
 鉄道運賃：4,840円+指定席2,750円
 タクシー：2,700円

復路

2月9日(金) 10:31 北鉄バスにてJR 金沢駅へ。11:48 発しらさぎ8号と普通電車にて
 15:44 JR 可児駅到着。
 バス運賃：390円
 鉄道運賃：4,840円+指定席券3,150円

バス時刻表

平日 総合スポーツセンター→金沢駅 2023/11/30 現在

			到着	系統	降車停留所	料金
5						
6	52	→→→→	7:17	52	金沢駅西口	¥340
7	27	→→→→	7:53	52	金沢駅西口	¥340
8	57	→→→→	9:30	52	金沢駅西口	¥340
9						
10	31	→→→→	11:15	56	金沢駅【降車場】	¥390
11	31	→→→→	12:15	56	金沢駅【降車場】	¥390
12						
13	31	→→→→	14:15	56	金沢駅【降車場】	¥390
14	41	→→→→	15:25	56	金沢駅【降車場】	¥390
15	41	→→→→	16:25	56	金沢駅【降車場】	¥390
16						
17	27	→→→→	17:53	52	金沢駅西口	¥340
18						

タクシー会社

どの会社も配車に20分以上かかる

(金沢市の駅)

石川交通㈱	(076)231-4131			170	5	(GO)
西富北タクシー	0120-24-0001			131	10	(GO)
大和タクシー㈱	(076)265-5166			93	17	(GO)
金沢東一交通㈱	(076)242-2225			46	5	
北陸さくら交通	(076)258-6428			82	1	
金城交通㈱	(076)258-2100			69	4	
みどり交通㈱/早稲タクシー	(076)268-6677			19		
石川道路タクシー㈱	0570-08-3265			91	4	(GO)
なるわ交通㈱	0120-69-3535			53	3	(GO)
かもめタクシー㈱	(076)231-1128			16	1	
宝タクシー㈱	(076)252-1236			27	1	
朝オリエント	(076)768-2022			34	10	(GO)

令和5年5月25日現在

駐車場

総合スポーツセンターの駐車場は半分程度空いていた。施設の近くは市内か近隣県からの車両が停められていた。ホテル連泊で車移動している介護スタッフも数名いた。



生活環境

仮眠スペース①いしかわ総合スポーツセンター3階（女性は2階）

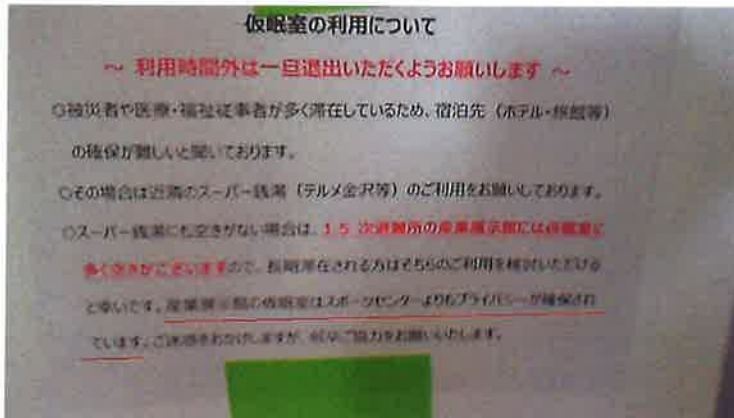
②石川県産業展示館2号館2階（①より徒歩7～8分）

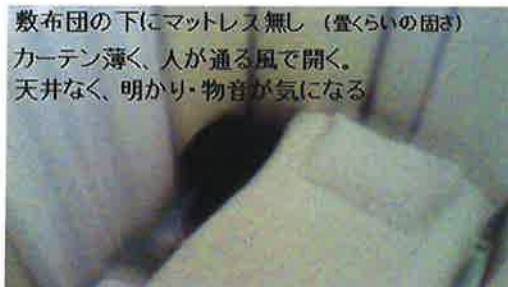
個人で使用可能なコンセントは無い。施設トイレ使用可能。入浴施設は使用不可。洗濯室も使用不可。ゴミ箱なし。自動販売機は複数あり、缶とペットボトルは廃棄可能。総合スポーツセンター近くにコンビニ（ファミリーマート）あり。通常営業で品揃えも普通だが店内での飲食は禁止。レストランも探せば1～2軒？



仮眠スペース

応援派遣された職員は、男性3階・女性2階に区分けされた仮眠スペースを使うか、徒歩8分ほど離れた石川県産業展示館2号館の仮眠スペース、もしくはホテルで連泊しなければならない。仮眠スペースは手続き無しで占有できるが、空いている保証は無い。いしかわ総合スポーツセンターの男性用仮眠スペースは階段を上がった中三階のようなフリースペースに左側12床、右側8床の計20床あり。パーティションで段ボールベッドを囲んだだけの個室（天井なし）が連なっており、館内放送やホールのテレビ音声、話し声などで騒がしい。宿泊者の勤務形態がさまざま、昼夜いろんな時間にアラームが鳴る。物音を出しづらい。出入口は薄いカーテンで、人が通ると風で捲れてしまう。布団と枕は共用、シーツと枕カバーを替えている。昼ほどの硬さの段ボールベッドにはマットレスが無いので起床後に背中が痛い。“仮眠スペース”が故、斯様な環境であろうと察する。なお、施設内でのテント・寝袋の使用は『許可を得ていない』とのこと。





電源（コンセント）

公共施設であり、コンセントは各ブース内にあるため個人では使用できない。よってスマートフォン等の充電は困難。避難所に au 提供のバッテリー型充電ステーションが1台設置されている。稀にスタッフも充電していたが、原則は避難者用。

入浴

シャワー室は避難者と一般市民用でありスタッフは使用不可。DWAT スタッフからは車で10分程離れた入浴施設（仮眠室あり）に行ってほしいと言われる。

総合スポーツセンター隣（徒歩3分程度）に銭湯“金城温泉”あり。営業時間6時~23時、火曜日定休。入浴料490円。タオル要持参。シャンプー等は各50円で購入する。

業務の概要

日勤8時~20時、夜勤20時~8時の2交代制。休憩時間の決まりはなく都度相談。

出勤後、名簿に記入し、スマホでQRコード登録フォームに所属・氏名・勤務場所・勤務時間帯などを入力（必須）。

黄色ビブス（メッシュベスト）に担当レーンと氏名を書いたガムテープを貼って着用。

介護ステーションに荷物を置く棚はあるが鍵は無し。貴重品は常時携行が望ましい。

服装は、避難所（体育館）の暖房がよく効いており、上衣・肌着とも半袖でも寒くない。

ズボン下も不要。靴は外履き（スニーカー等）と上履き（スリッポンやサンダル）が半々くらい。嘔吐物処理やウイルス対策、感染者エリア勤務などを考えると、上履きの持参が望ましい。マスク・手袋など PPE 類は支給品が充実している。手指衛生は循環ろ過式の手洗い場と消毒各種あり。飛沫対策として保護メガネなどを持参すると良い。

サブアリーナ入所者は要配慮者が主で介助量は少なめ。デイケア利用者に近い雰囲気。食事介助が必要な 2~3 人の他にはトロミ付けはほぼ不要。水分制限や吸痰などが必要なマルチパーパス（要介護者エリア）に入所する感じ。

夜勤は 20 時に始業。施設の消灯時刻である 22 時までに LED ランタンをフロア各所の床に配置し、スタッフも LED ライトを首に掛けておく。消灯後は真っ暗になる。トイレ介助と巡視が主な業務の様子。（←午前 1 時頃に視察した程度）

入所者の概要

入所時に写真（チェキ）撮影し、上に居室番号（“L6 右”など）、下にカタカナ氏名を記入し居室パーティションに掲示している。その横に『移動：自立 食事：自立 排泄：一部介助 義歯：上下』などの情報を書いたガムテープが貼ってある。各居室前のテーブルにクリアファイルが貼られ、各種情報シート、食事箋、記録表などが入っている。

全員、胸と背中に居室番号とカタカナ氏名を書いたガムテープが貼られているが、居室移動しても更新できていないことがあり、配膳や配薬のときはカタカナ氏名で探し、本人確認をおこなっている。

薬は全て持参薬。薬剤師チームが管理しているが、レーンごとの配薬ホルダーへの薬セットは介護リーダーがおこなっている。薬袋の記名は漢字だが難読な苗字もあり、本人確認は必須。服薬は原則すべて食前。

食事は 1.5 次避難所という位置づけからか、形態は全部で 2 種類。主食・副食ともミキサーもしくはプリン状。カップの栄養補助食品やクリミールカリハタイム、ヨーグルト又はゼリー等が付いている程度。カトラリーはプラ製スプーンのみ。配膳は食器トレイまたはビニール袋に貼られた名札を見て配る。下膳の際に名札に食事量（例：10/8 ←主食/副食の意）を記入し、レーンごとの回収ボックスに入れる。食器は紙か樹脂製で、すべて廃棄している。

食事介助が必要な方は 2~3 人。エプロン使用も 2~3 人ほど。その他は自立でトロミ付けもほとんど無いが、ときどきムセる方は居る。

水分はすべて 1.5ℓ ペットボトルの水またはお茶を紙コップで提供。ボトル開封時に日付記入し 2 日経過で廃棄している。

夕食後に義歯を預かり、歯磨きシートで拭いてポリデントに漬けている。

仮設トイレ

体育館なので水場や水道は無く、排泄後の手指は消毒とクロス拭き。8~10 箇所にパー

パーティションで囲ったポータブルトイレが配置されている。ポータブルトイレは電動の自動ラップ式で、排泄後リモコンボタンを押すと 90 秒で便器内のビニール袋がシールされて下に落ちるので、次の使用時に付き添いスタッフがトイレ内のゴミ箱に捨てている。便器内に猫砂のような吸収・消臭チップを入れている。

【自動ラップ式ポータブルトイレ 安寿（あんじゅ）FX-30】

便器近くに据え置き型の手すりが設置されている。

定時刻（3時・7時・10時・15時・19時・23時）に消毒実施。手すりや床はハイター泡スプレーを散布し拭き取る。便座は分解してビニール袋に入れ、ハイター泡スプレーで5分間の浸け置き消毒。

サブアリーナから出ると通路沿いに一般用の水洗トイレがあり、入所者とスタッフが使用している。

館内の様子

体育館の床にゴムシートを敷き詰め、パーティションで居住区画を作っている。

パーティションが列配置されており、アルファベット L～U で識別されている。LMN・OP・QR・STU とレーン（エリア）分けし、スタッフを配置している。

1居室に二人分の段ボールベッドとマットレス、枕、布団、毛布を設置。間仕切り無し。床は定期的にボランティアが拭き掃除している。

ゴミ箱は通路の数ヶ所に置かれており、フタは無い。



物品の補充

阪急交通社が一括して管理している。重複を防ぐため、スタッフが必要な物品をレーンのリーダーに伝え、介護リーダーが取りまとめて発注用紙で依頼するとホワイトボードに掲示され、数量や入荷時期などの情報が共有されている。

石川県産業展示館 2号館の概要



参考情報

小職の携行品について

事前情報ではコンビニで食料調達が可能と聞いていたが、念のため行動食を4日分持参した。現地を確認するとコンビニは店内飲食禁止。仮眠スペースの環境では弁当などの食事とゴミ処理は困難。終業後の20時～閉館22時の間でレストラン往復も困難なこと

から、持参した食料（1食あたりカロリーメイトブロック、クリミール、一本満足バー各200～330kcal×4日分）＋おにぎり or 総菜パンで過ごし、ゴミは持ち帰って自宅で廃棄した。飲み物は全て自販機で購入した。

食料と衣類4日分、上履き、タオル3枚、モバイル充電器、髭剃り機、目覚まし時計、薬、感染検査キット、サージカルマスクや保護メガネほかPPE類、ウェストポーチ、LEDライトなどを50Lバックパックとショルダーバッグにて携行。結果、仮眠スペース内に置くことができる限界量であった。寝袋と小型テント（2m×1m）も持参したが使えなかった。



③所感

金沢市内に震災の影響は見られず、早朝に震度4の揺れが一度あったのみ。総合スポーツセンター内のトレーニングジムやプールには多くの利用者があり、一見すると平常時と変わらないが、壁1枚隔てたアリーナは避難所であり、大きなギャップを感じた。高齢な被災者の境遇や心情に直面し、学びの多い体験となりました。

以上